

事業概要	<p>水の浄化をシャンプーから取り組みましょう～持続可能な生活資材</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 東南アジアなどの開発途上国に多く自生する植物モリンガ(学名:Moringa oleifera)から、水質浄化作用を有するエキスを抽出して活用したシャンプー剤等の開発・販売。</li><li>• モリンガエキスの水質浄化作用は、単に泥水をきれいな水にするだけでなく、一般細菌やカドミウム、ヒ素などを吸着除去し、水質の浄化とともに、排水による感染リスク低減を実現する。</li><li>• 合成添加物を一切使用しないシャンプー剤と水質浄化作用のある植物モリンガをトレードオンした製品で、家庭排水を水際から浄化する商品。(固液分離作用により汚泥の河川や海への流出を阻害)</li></ul>
部署	SDGs部
所在地	〒540-6122 大阪府中央区城見2-1-61 ツイン21MIDタワー22F
連絡先	(電話番号)06-4794-2480 (E-mail) <a href="mailto:sdgs@reve21.co.jp">sdgs@reve21.co.jp</a>
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<ul style="list-style-type: none"><li>• 持続可能な社会に貢献する ESG 製品を「ニューノーマル」とした開発を日本初の化粧品業界トレンドとする。</li><li>• 環境改善のエビデンス(自社エビデンスを除く)を有する生活資材がノーマル化すれば、消費者が意識せずとも確実に未来社会の自然環境を改善できると信じています。(葉機法による宣伝メニュー範囲に、環境貢献を拡充するなど法規制の見直しとともに、環境改善資材を PR した販売を容認する社会構造にする)</li><li>• 関西 SDGs プラットフォーム公認「共育分科会」の事務局企業として、多くのステークホルダーとともに議論、検討、連携した行動を実践中。こうした地域密着の活動により、国連目標の 2030 年に達成するためのシナリオを拡散させたいのです。</li></ul>

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	脱炭素／農林水産業・地場産品／健康・福祉
	★実践事例	<p>① モリンガ植林プロジェクトで自社農園での栽培管理を無償提供中：多くの方々とともに CO<sub>2</sub> を一般植物の 20 倍多く吸収するモリンガを植林（連携：共育分科会、農業学校、企業管理農園）</p> <p>② ヘチマプロジェクトで環境教育プログラムの企画・提案が可能：マイクロプラスチックの家庭流出削減を目的に、プラスチックスポンジを植物のヘチマに代替して実現させます。また、小中学校とも連携したヘチマ栽培も実証し、できたヘチマスポンジの活用を地域に広げる活動を実施中です。（連携：JICA、公立中学校、共育分科会、農業学校、企業管理農園）</p>
	URL	企業リリースURL： <a href="https://www.reve21.co.jp/company/news/">https://www.reve21.co.jp/company/news/</a> 分科会リリースURL： <a href="http://sdgs.itamachi.jp/index.php/category/release/">http://sdgs.itamachi.jp/index.php/category/release/</a>
上記ソリューションを提供できる地域について	全国	

## 自者の特徴

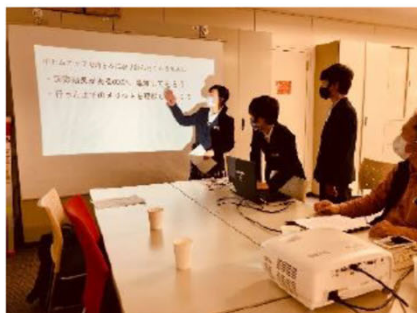
## ① SDGs 体験イベント(農園)

JICA、共育分科会、企業、学校、学生(小中高大)の方々とともにプラスチック製スポンジをヘチマに変える体験やモリンガ植林や試食の体験を開催(参加者 43 名)



## ② 学ぶ SDGs から、やる SDGs へ SDGs 教育プログラムを実施(企業)

中学校と JICA 関西が取り組むSDGs の教育プログラムで、大阪市立新巽中学校(大阪市生野区)の生徒7名と「SDGs を学び、自ら実践するプログラム」を実施



## ③ 海外へ日本初の化粧品業界トレンドを拡散させるため、内閣府、JETRO、拠点都市の支援を受けて、具体的な商談を展開中。また、グローバル・イノベーション・フォーラム(GIF)2021 日本代表に選抜され、同様に海外商談を展開中。

## ④ 日本薬学会で研究論文発表(2021): 摂南大学・尾山廣博士と連携した研究成果「ワサビノキ種子抽出物の新規機能探索および化粧品利用への展望」

## SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

- ・いまだに考えるだけの企業が多く、実践活動で普及を展開する企業が増えない
- ・SDGs 達成の必要性について、学生の意識が企業を上回っている
- ・今までの考え方、やり方を変えなければならないという意識が企業に希薄